

PROFILE



(畜産研究部門の放牧場と雲仙普賢岳・平成新山)

長崎県農林技術開発センター 畜産研究部門

Livestock Research Division ,
Agriculture and Forestry Technical Development Center,
Nagasaki Prefectural Government

長崎県島原市有明町湯江丁3600

Tel (0957)68-1135~1137

Fax (0957)68-1138

s26604@pref.nagasaki.lg.jp

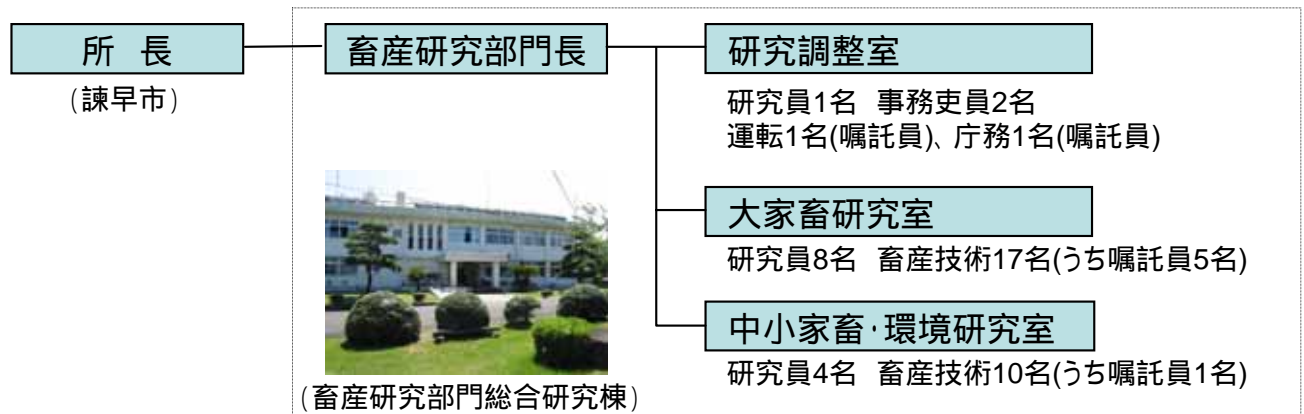
<http://www.n-nourin.jp/>

沿革

昭和13年3月	南高来郡深江村に長崎県種馬育成場創設
昭和21年12月	長崎県種鶏場創設
昭和26年6月	飼養形態の変遷に伴い島原種畜場と改称
昭和28年9月	深江村より現在地(元経営伝習農場)へ移転
昭和36年7月	島原畜産センター及び大村種鶏センターを供置し、試験研究の推進を図る
昭和46年4月	機構改革に伴い長崎県総合農林試験場畜産部として発足(旧畜産部、島原種畜場、種鶏場を統合)
昭和48年4月	機構改革により長崎県畜産試験場として独立
昭和57年4月	組織改正により養鶏分場(大村市)を畜産試験場本場へ移転統合
平成元年3月	生物工学研究棟を設置
平成15年4月	県内7試験研究機関を統括する政策調整局所管となる。組織改正により5科体制(酪農科、肉用科、草地飼料科、養豚科、養鶏科)から3科体制(畜産環境科、大家畜科、中小家畜科)へ
平成16年4月	畜産環境科を企画・環境科へ変更
平成18年4月	科学技術振興局へ移管
平成21年4月	3試験場(総合農林、果樹、畜産)を再編統合し農林技術開発センターを設置(7研究部門と1管理部門に再編)。畜産研究部門として、研究調整室、大家畜研究室、中小家畜・環境研究室を設置

組織構成

(平成23年4月1日現在:45名)



立地、位置図

- 所在地 長崎県島原市有明町湯江丁3600番地
- 標高及び傾斜 120m、北北東
- 経緯度 東経130°20' 北緯32°51'

家畜飼養頭羽数

乳用牛	22頭
肉用牛	83頭
豚	232頭
鶏	1,134

(平成23年4月1日現在)

敷地・自然条件

敷地	(ha)
総面積	37.7
建物	5.2
飼料畑 (うち放飼場)	14.3 (1.6)
山林	13.7
農業大学校用地	3.1
公衆用道路他	1.4

自然条件

年間降水量	2,052mm
最高気温	31.9
最低気温	0.3
平均気温	15.4

土壌

地目	畑
母材	非結晶火成岩(火山岩)
土性	埴壤土
pH	6.3(H ₂ O)
リン酸吸収係数	2750

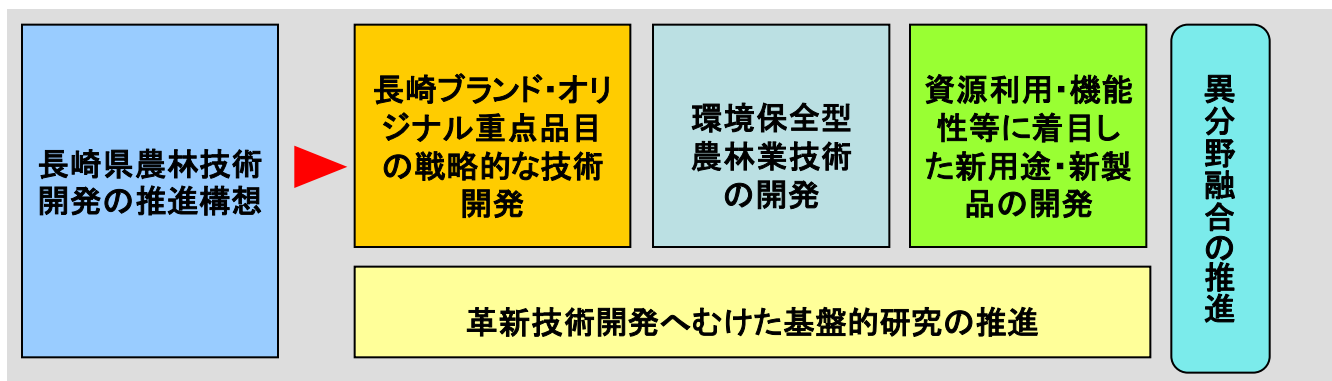
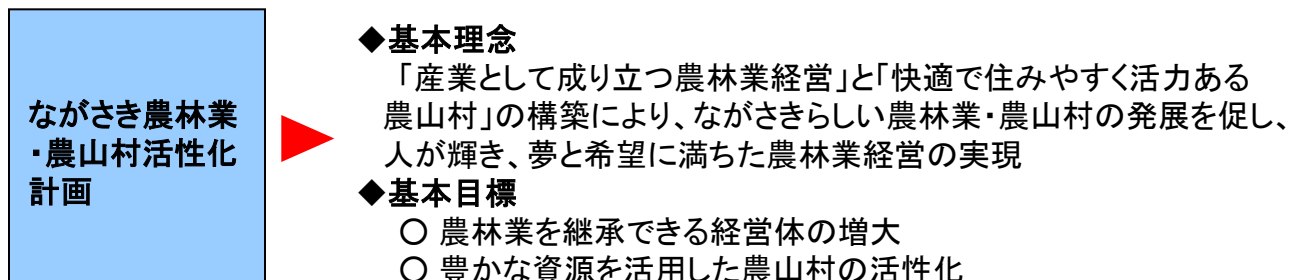
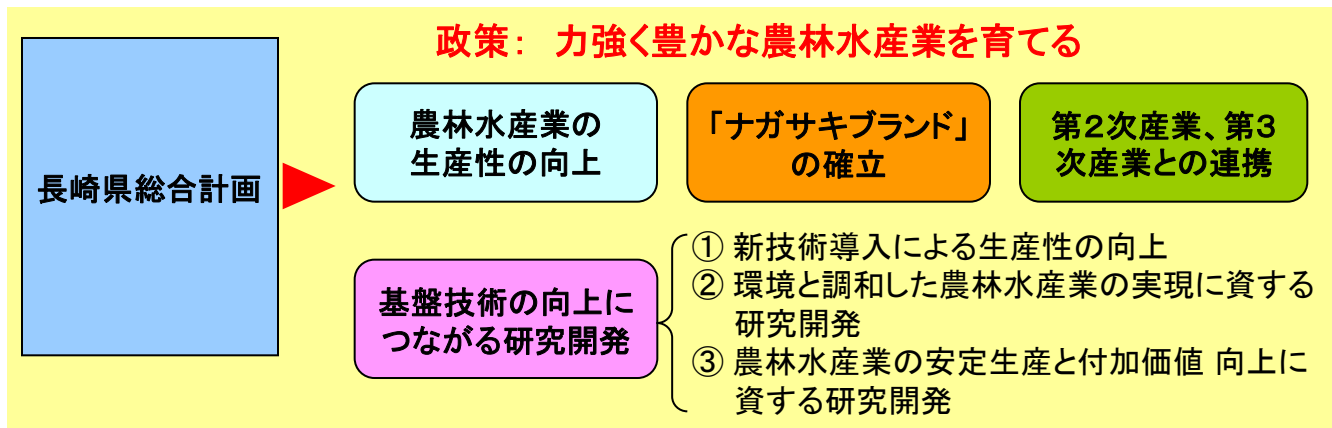


(一般公開と
第10回全国和牛能力共進会長崎
大会のマスコット、カサベコくん)

試験研究の目標 理念（キャッチフレーズ）

「農林業の生産から消費に至る農林業技術の研究開発による長崎県の活性化」

農林業の生産から加工・流通、消費までの先導的な農林業技術に関する試験研究・開発等を行い、県内の農林業及び関連産業の振興に貢献し、県民生活の向上を実現する。試験研究に際しては、本県農林業の発展の方向性や将来展望に沿いつつ、生産現場の課題解決に直結し、かつ農林業者の実践に役立つ技術開発を行うことを理念に推進する。



研究調整室

- 畜産関係の試験研究の調整
- 畜産技術相談窓口
- 総務事務等



（一般公開）



（研修会、講習会等）

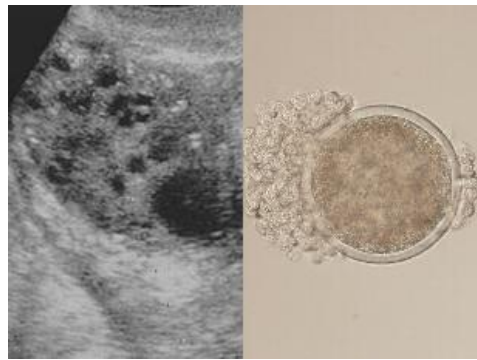
大家畜研究室

肉用牛及び乳用牛の飼養管理技術の改善、バイオテクノロジーによる高能力牛の作出、草地・飼料作物の生産・利用技術の開発を行っています。

- 高品質な牛肉生産のための飼養管理技術
- 肉用牛の早期肥育技術
- 肉用牛の早期肥育技術「長崎和牛」ブランド強化のための牛肉品質推定技術
- 乳牛の生産性向上のための飼養管理技術
- 受精卵移植技術を活用した効率的生産技術
- 放牧草地の造成技術
- 飼料作物の生産・貯蔵・給与技術
- 未利用資源の飼料化・給与技術



(受精卵移植による和牛生産)



(体外受精による高能力牛の作出)



(子牛の育成技術及び早期肥育技術の開発)



(おいしい「長崎和牛」と、ブランド強化)



(放牧草地造成技術の開発)



(飼料作物の選定・普及)

中小家畜・環境研究室

安全・安心でおいしい豚肉生産技術の開発、対馬地鶏を活用した食味の良い特産鶏や高品質な鶏卵鶏肉の開発、資源循環に根ざした家畜排せつ物の処理技術の確立試験に取り組んでいます。

- 付加価値の高い豚肉生産技術
- 良質鶏卵・鶏肉の生産技術
- アニマルウェルフェアを考慮した畜産物生産モデルの構築
- 家畜管理作業の軽減化技術
- 家畜排せつ物の処理技術



(環境に配慮した豚肉生産)



(地域未利用飼料を活用した豚肉の生産)



(おいしい豚肉の生産)



(対馬地鶏を活用した、おいしい鶏肉の生産)

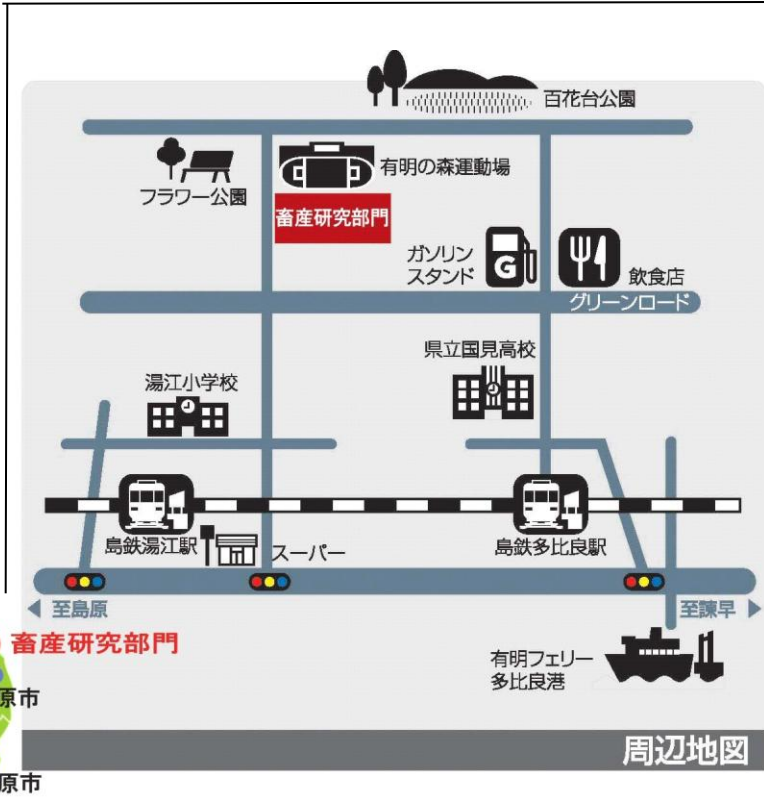


(臭気低減のための技術開発)



(畜舎汚水の浄化処理技術の開発)

畜産研究部門施設案内図



 長崎県農林技術開発センター 畜産研究部門
Livestock Research Division, Agriculture and Forestry Technical Development Center,
Nagasaki Prefectural Government

〒859-1404 長崎県島原市有明町湯江丁3600
TEL(0957)68-1135 FAX(0957)68-1138
E-Mail: s26604@pref.nagasaki.lg.jp